

大拙館講座



鈴木大拙
思索のくらし

篆刻家として著名な小田玉瑛先生は、実は鈴木大拙をよくご存知です。というのも、1958年11月、アメリカから帰国した大拙は自ら創設した松ヶ岡文庫（鎌倉）に住まい、研究を続けますが、小田先生は、その当初から縁あってさまざまに大拙をサポートされたからです。原稿の清書から唐本の写し、住所印の作成、来客の接待に至るまで、その無償のサポートは大拙が亡くなるまで続きました。本講演では、小田先生に大拙の日常などについてお話しいただきます。

講 題 鈴木大拙 思索のくらし

講 師 おだ ぎょくえい
小田 玉瑛 氏 (篆刻家・書家)

日 時 2024年 11月 4日(月・振休) 14:00～15:45 (開場 13:40)

会 場 金沢歌劇座 3階 第3・4会議室 金沢市下本多町六番丁 27番地

受講料 500円 受講時に現金でお支払いください

定 員 50名 10月8日(火) 午前9:30～ 電話申込(先着順)

Tel. 076-221-8011



鈴木大拙館

D.T. SUZUKI MUSEUM

大拙館講座

講題：鈴木大拙 思索のくらし

講師紹介

おだぎょくえい ひろこ

小田玉瑛(寛子)氏 (篆刻家・書家)

1932年東京駒込に生まれる。1952年殿木春洋に師事、書、篆刻を学ぶ。1958年二世中村蘭台に師事、篆刻を学ぶ。1959年より鈴木大拙(鎌倉・松ヶ岡文庫)の助手。1971年東洋大学大学院文学研究科博士課程修了。その後、保田與重郎、名和三幹竹、真鍋呉夫に師事、各先生から和歌、俳句、連句を学ぶ。1972年頃より造形芸術研究のためインドをはじめシルクロード諸国を歴訪、印章の調査蒐集。

1978年第一回粟津ニューギャラリーにて個展を開催。1979年銀座松屋、大阪三越、銀座鳩居堂にて個展を開催。以後銀座鳩居堂にて概ね隔年に個展を催し、卒寿の記念個展は第27回。2019年(令和元年)京都文化博物館にて「小田玉瑛の世界展」を開催。2022年NHK『美の壺』『己を表す はんこ』に出演。

著書に『小田玉瑛印譜集』全三巻(光琳社出版、1981~2)、『シルクロードの印章』(光琳社出版、1988)、『インド曼荼羅』(光琳社出版、1990)、『文庫版シルクロードの印章』(京都書院、1999)、『印章の道 メソポタミアから日本へ』(木耳社、2012)、『游刻八十年 小田玉瑛随想集』(中外日報社、2017)、『遙けき岸ゆ 小田玉瑛自選歌集』(光村推古書院、近刊)、寄稿文に「世界の文字を印にしたい」(『季刊銀花』第50号、1982)、「昭和の維摩居士」(『追想 鈴木大拙——没後四十年記念寄稿集』松ヶ岡文庫、2006)等、その他個展記念小冊子に「小田玉瑛女史を語る I, II」(川端康成没後二十周年小田玉瑛展「川端文学を彫る」)等がある。



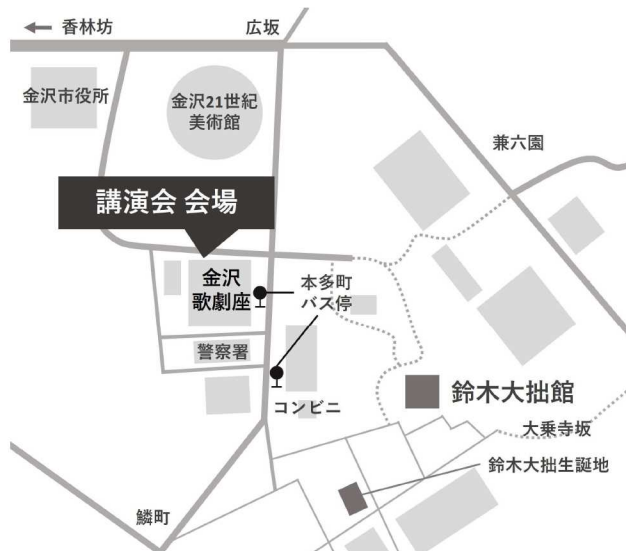
左から小田玉瑛氏、古川大航老師、鈴木大拙先生

「篆刻家小田玉瑛 92歳の仕事展」

2024年11月14日~17日「石川県政記念 しいのき迎賓館」にて開催予定。



海外でD. T. Suzukiとして知られる、金沢出身の仏教哲学者・鈴木大拙(本名：貞太郎 1870-1966)。鈴木大拙館は大拙の考えや足跡を広く国内外の人々に伝えることにより、大拙についての理解を深めるとともに、来館者自らが思索する場として利用することを目的に開設されました。



■バス

北鉄バス、金沢周遊バス
JR金沢駅一本多町下車
(約20分)

■タクシー

JR金沢駅一金沢歌劇座
(約15分)

■車

富山方面から北陸自動車道
金沢東インターより約20分
福井方面から北陸自動車道
金沢西インターより約25分

10月8日(火) 午前 9:30~ 電話申込(先着順)

Tel. 076-221-8011 9:30-17:00 休館日:月曜日(祝日の場合、翌平日)

※お申込時は「フルネーム」と「電話番号」を確認させていただきます。

〈お申込み先〉鈴木大拙館 〒920-0964 金沢市本多町3-4-20

応募者の個人情報は、当事業の運営目的のみに使用し、主催者が安全に管理し保護を徹底します。